

巻頭言

「善意のネットワーク」

EPA 常務理事 田中雅道



昨年、米海軍太平洋艦隊とアリゾナ記念館の共催によるパールハーバー 65周年式典に出席しました。現地時間 12月 7 日午前 7 時 55 分に参列者 4000 人が黙禱する頭上を F-15 戦闘機がゼロ戦にみたてて低空飛行しました。そして戦艦ラッセルが甲板で総員敬礼して目の前の埠頭を過ぎていきました。会場の正面に、台湾の新高山にみたてた山が見えました。山頂左側の窪んだところからパールハーバー目指して攻撃機が飛来したそうです。現場に立って、歴史

の一場面を実感しました。

そして、先日話題の映画「硫黄島からの手紙」を見ました。パールハーバーの実感と同じでした。何という空費、日米双方とも 20 歳代の青年の多くの命を、しかも莫大な戦費を掛けて... 何という過ちを、人類は犯してしまったことか。

Remember Pearl Harbor! その通りです。忘れてはいけません。人類がこんなおろかな過ちを犯してしまったことを、けっして忘れてはいけません。だから、平和のために力を尽くさなければならないと、肝に銘じました。平和を祈り、平和のために今自分ができることに力を尽くさなければいけないと。

日米双方とも命を掛けて守ろうとした国は今どうなっているのか、彼らの愛する故国はどうなってしまったのか？

そのように命を掛けて国を守ろうとした人たちの志を受け継いで、私たちは良い国を作らなければならない、美しい世界を築くために力を尽くさなければならない。

私は宗教交流、文化交流を通じ、エスペラントを通じ、心ある人たちと善意のネットワークを築いていきたい。

お知らせ

「大本エスペラント友の会」の 発展的解消（EPAへの吸収）について

エスペラント普及会（EPA）

このたび、進展する大本エスペラント運動に対応するため、「大本エスペラント友の会」を発展的に解消し、エスペラント普及会（EPA）に吸収することとなりました。長年にわたり同友の会を通してご支援たまわりましたことに厚く御礼申し上げますとともに、今日、教主さまのもとで世界大に進展する“エスペラント神業”へのさらなるご理解、ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

1 「大本エスペラント友の会」の功績

「大本エスペラント友の会」は20年前の1986（昭和61）年2月3日、長生殿ご造営発表と同時期、“長生殿時代のご神業奉仕”の一環として、「エスペラントは話せなくとも、物心両面で、エスペラント神業に寄与する」ことを目的に、四代教主出口聖子様（当時、教嗣）を名誉会長にご推戴申し上げ、当時の直心会長、三好七五三子氏を会長として発足しました。

（発足当時の主な活動）

- ・『大本えすべらんと史』、『中国、道院と大本』を発行
- ・世界のエスペラント運動に貢献した個人・団体に対し、「出口王仁三郎賞」（毎年、賞金約30万円）を授与。
- ・「大本エスペラント夏季セミナー」への支援
- ・世界エスペラント大会参加団への支援
- ・「緑の基金」の推進、その他

（上記の内、「出口王仁三郎賞」授与は今日も「友の会」会費によって継続しています）

2 五代教主時代、大本エスペラント運動（“エスペラント神業”）の進展

2001（平成13）年4月29日、五代教主出口紅様は大本教主にご就任になり、同時にEPA名誉会長にお就きになりました。教主さまには、教主ご就任の年の暮れ、12月15日を期し、エスペラント学習をご再開になり、翌年の節分大祭以降、大祭ご挨拶の中でエスペラン

お知らせ

トを用いてご挨拶を始められるなど、エス学習の大切さを身をもってお示しになられています。

2003(平成15)年1月、エスペラント運動は教団の「近未来への目標」5項目の一つに挙げられ、世界平和実現への重要な活動と位置づけられました。

(「近未来への目標」)「一つの世界」実現のために(エスペラント運動)

言語の障壁を取り除き、世界の平和と人類の和解を促進するため、各民族語の尊重とともに、世界共通語エスペラントの国際的実用化をめざして活動を進めます

2004(平成16)年12月、教主さまの南米ご親教を期に、地元のエスペランチスト、スピリティストらの協力により、ブラジルの首都、国際都市ブラジリアに「大本インテルナツィーア」が開設され、2006(平成18)年5月には、機関誌「Oomoto Internacia」が、かつてパリの欧州本部で創刊されて以来80年ぶりに発刊しました。第2号(2006年12月刊行)では『霊界物語』抄出のエス訳、ポルトガル語訳が掲載されるなど、同誌を通して、今後、大本のみ教えと活動が南米をはじめ広くヨーロッパへと伝達されます。

2006(平成18)年、教団では開教120年記念事業がスタートしました。記念事業の眼目の一つである海外宣教については、大本エスペラント運動の担う役割には大きいものがあります。ブラジルばかりでなく、アジアにおいても、モンゴル、韓国、中国等とのエスペラントを媒介とする宗教交流、エスペラント交流が活発になりつつあることは、ご神業の進展に寄与するものと思われます。

特に本年2007(平成19)年8月には、横浜で第92回世界エスペラント大会が開催されます。日本では1965(昭和40)年の東京大会以来42年ぶり2度目(当時、天恩郷では「大本国際友好祭」=大本フェスティバルを開催)。また横浜での世界大会の後、綾部・亀岡の両聖地では多くの海外エスペランチストの参加を得て、「Bonvenon al Oomoto en 2007!」を催し、「大本歌祭」の紹介などを行う予定です。これは、エスペラントでの開催が予定されているブラジリア歌祭、そしてエルサレム歌祭へとつながるものです。

お知らせ

3 「大本エスペラント友の会」の発展的解消（EPAへの吸収）について

エスペラントは、聖師さまをはじめ歴代教主・教主補さま方のご教示にある通り、「一つの世界」実現にはなくてはならない「神の言葉」です。特に五代教主時代の21世紀に入り、エスペラントの重要性はますます高まっています。こうした状況下、“エスペラント神業”に寄せる信徒・会員の熱い思いを結集するため、従来の「大本エスペラント友の会」のあり方を見直すことになりました。具体的には、同友の会を発展的に解消し、EPAに吸収することとし、これに伴い、これまでの同友の会会員（普通、賛助、終身会員）は、EPAの賛助会員（普通、特別、終身賛助会員）にそれぞれ移行することになります。

なお、同友の会には、終身会員19名（別項参照）のほか、発足当時に2,429名が入会（現在の会員は約300名）。その浄財の活用により、大本エスペラント運動は進展し、今日でも毎年、世界の著名なエスペラント運動家を顕彰する「出口王仁三郎賞」授与が世界エスペラント大会の中で世界エスペラント協会（UEA）によって行われており、エスペラント界から高い評価を受けています。

このたび、同友の会を、新世紀の“エスペラント神業”に対応するため発展的に解消することになりましたが、これまでのまごころによるご支援に対して心より感謝申し上げますとともに、EPAへの移行後も、大本エスペラント運動へのさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷エスペラント普及会
Tel: 0771-22-5561 Fax: 0771-25-0061
メールアドレス: oficejo@epa.jp 郵便振替: 01010-0-8669

「緑の基金」の活用について

「大本エスペラント友の会」が推進してきました「緑の基金」は、従来通り存続します。同基金は大本エスペラント運動を支援するためにお寄せいただく随時の寄付金です。これまでEPA活動への直接的支援のほか、大本青年海外派遣の助成などに活用されてきました。今後は従来の活用に加えて、大本青年エスペランティストの育成や、大本との交流の深い海外エスペラント組織との連携・協同のための資金としても活用させていただきます。

お知らせ

御 礼

「大本エスぺラント友の会」の終身会員は次の通りです。そのほか多くの賛助会員、普通会員がいらっしゃいます。温かいご支援に対し、御礼申し上げます。

終身会員(敬称略、順不同): 出口京太郎(口丹波) 今順子(奈良) 上田恵子(奈良) 松永幾世(和歌山) 半田聖治(徳島) 成尾議市(熊本) 仮屋雅代(熊本) 松永泰子(熊本) 門脇孝次(本部直属) 中條寛彦(宮城) 鈴木捨三郎(神奈川) 故・片桐忠夫(新潟) 片桐千百合(新潟) 寺西弥重(北陸) 中嶋正雄(北陸) 故・鈴森淑(北陸) 矢澤美乃恵(静岡) 島本邦彦(近江) 梶田育子(本部直属)

今後は「エスぺラント普及会」(EPA)の終身賛助会員、特別賛助会員、普通賛助会員にそれぞれお移りいただきます。なお、終身賛助会員、特別賛助会員の方につきましては、ご希望により、EPA 普通会員と同等の特典(エスぺラント研修会の参加割引、機関誌“Nova Vojo”の送付)をお受けいただくことができます。ご希望は随時、承ります。EPA 事務局までご連絡ください。

「エスぺラント普及会」(EPA) 年会費

普通会員 3,000 円
学生会員 1,500 円
家族会員 1,000 円
普通賛助会員 1,000 円以上
特別賛助会員 10,000 円以上
終身賛助会員 一時金 10 万円以上
購読者 3,600 円

横浜世界大会ニュース(4)

第92回世界エスペラント大会 開催期間(2007年8月4日から11日);会場(パシフィコ横浜、横浜みなとみらいホール、神奈川県立音楽堂);大会テーマ(Okcidento en oriento: akcepto kaj rezisto「東洋の中の西洋:受容と反発」)

主なプログラムの予定

8月4日(土)国際交流の夕べ(前夜祭): 8月5日(日)午前10時、開会式(横浜みなとみらいホール): 午後6時半(または午後7時から)日本の夕べ(横浜みなとみらいホール): 8月6日(月)午前、大会教養講座(パシフィコ横浜);夕方、食事会、ダンスの夕べ: 8月7日(火)午後7時、コンサートの夕べ(神奈川県立音楽堂): 8月8日(水)終日、一日観光日: 8月9日(木)午後7時から、演劇の夕べ(神奈川県立音楽堂): 8月10日(金)午後7時から、国際芸術の夕べ: 8月11日午前10時、閉会式(横浜みなとみらいホール)

(1) 昨年未現在の参加申込者数

国内外からの参加申込み者数は約1200人。

(2) 開会式の記念講演

筑波大学大学院教授(人文社会科学研究科)の津田幸男氏に決まりました。講演内容は大会テーマについて行われます。

津田氏の専門は、国際コミュニケーション、国際言語政策論、言語環境学、社会言語学、英語教育である。研究テーマは、1.国際・異文化コミュニケーションにおける国際言語文化政策研究;2.言語環境の「英語化」に関する国際比較研究;3.日本人の英語とのかかわりとその諸問題;4.民主的な国際コミュニケーション秩序の理論構築;5.「人権としての言語」及び「ことばのエコロジー」からの言語環境学研究。(同氏のホームページより)。

(3) 大会参加費

大会参加者はつぎの通りで、8月1日からは増額になります。

第 92 回世界エスペラント大会速報

- イ) UEA の個人会員 30,000 円
- ロ) UEA の個人会員でない人 37,500 円
- ハ) 同伴者・青年・障害者の方であって、同時に UEA の個人会員である人 15,000 円
- 二) 同伴者・青年・障害者の方ではあるが、UEA の個人会員ではない人 22,500 円

(4) 参加申し込み先

郵便振替口座 02290 - 4 - 94796 : 加入者名は、第 92 回世界エスペラント大会: 払込取扱票(郵便振替で送金するときに使用する用紙)には、郵便番号、住所、氏名、電話番号、上記(3)の参加費の種類を書いてください。

(5) 申し込み用紙、郵便振替用紙

申し込み用紙、郵便振替用紙は、下記(6)の日本エスペラント学会: エスペラント普及会(〒621 - 8686 京都府亀岡市天恩郷)(電話 0771 - 22 - 5591): 関西エスペラント連盟(〒561-0802 豊中市曽根東町1 - 11 - 46 - 204)電話 06 - 6841 - 1928)ファックス 06 - 6841 - 1955)(E-mail: kleg@mvf.biglobe.ne.jp): 各地のエスペラント会にもあります。

(6) 問い合わせ先

お問合せは、UEA の日本代表団体である日本エスペラント学会まで(〒162 - 0042 東京都新宿区早稲田町 12 - 3)(電話 03 - 3203 - 4581 : ファックス 03 - 3203 - 4582)
E-mail: Esperanto@jei.or.jp

(7) 宿泊、晚餐会、大会一日旅行などの申し込み

大会参加を申し込みますと、「大会第二報」(Dua Bulteno)が、送付されます。宿泊、晚餐会、大会一日旅行などは、それにしたがって申し込みます。

(8) 一日参加券

一日間だけ、二～三日間だけ参加する方は、一日参加券を当日、会場受付で購入し、参加することができます。一日につき約7,000円未満の料金です。

(9) 大会託児所

大会にお子様連れで参加を計画されている方は、大会託児所をご利用できます。

託児場所と時間 パシフィコ横浜国際会議場5階： 8/4(土)から8/10(金)、水曜日を除く： 毎日 8:45 受付開始 18:15 引き渡し終了

横浜みなとみらいホールB1階・託児室： 8/5(日) 10:00-開会式 8/11(土) 10:00-閉会式

費用 無料(20歳以下は大会参加費が無料)

対象 4歳～10歳児(エスペラントを話せなくても可)(3歳以下は保護者同伴)

条件 旅行傷害保険やボランティア保険に加入済みのこと。

内容 からだあそび、お絵かき、歌、読み聞かせ、日本の伝統的な遊びなどをヘルパント出前菰式で実施。

申込み 申込書の空欄に託児所を希望と明記のこと。

(10) 子供大会

大人の大会とは別に「子供大会」を開催します。

会場 ハヶ岳E館(山梨県北杜市)

期間 8月4日から8月11日(8月4日に横浜からバスで会場へ、11日横浜へ)

対象 エスペラントで意思疎通できる子供。

費用 未定(昨年は、220～345ユーロ：食事、宿泊、往復バス代込み)

内容 ハイキング、水遊び、料理、ゲームなどで過ごすエスペラント合宿

申込みと詳細は、<http://bertosch.free.fr/iik2007>で。

第92回世界エスペラント大会準備委員(芸術担当) 碓大福

Nur unu plia Poŝtmarko

Jeremi Gishron (Israelo)

La granda evento inter ni esperantistoj en Israelo estis la aperigo de Esperanta poŝtmarko la 17-an de decembro 2006. Multaj tiaj poŝtmarkoj ja aperis en la mondo dum la lasta jarcento, sed en Israelo neniam antaŭe. Kaj tio estis afero, kiun ni israelanoj multe bedaŭris, ĉar tamen Zamenhof havas rilaton al nia popolo kaj lando, apartenante al la litova judaro kaj junece aktiva en Hovevej Ciono (Amantoj de Ciono).

La ĉefa jubileo menciita sur la poŝtmarko, do la oficiala kialo por la poŝtmarko, estis ke nia lingvo nun atingis 120 jarojn. Tio estas agrabla kaj respektinda aĝo laŭ la juda tradicio. Oni en aldona folio ankaŭ mencias, ke tio samtempe estas 90 jaroj post la morto de nia Majstro. Mi mem aldonas ke la eldontoĝo estas la "ĉirkumcidotoĝo" de Zamenhof - precize ok tagoj post lia naskiĝo la 19-an de Kislef en la juda jaro nomita "KETER" (krono).

Kial 120 jaroj signifus apartan jubileon? "Ĝis la 120-a jaro!" Tio estas kutima benaldono, kiun oni devas afable deziresprimi, kiam oni demandas iun hebreon (laŭ la Zamenhofa stilo mi skribas hebreo kaj ne judo) pri lia aĝo, aŭ gratulas lin dum lia naskiĝtago. La signifo de tio estas, ke oni esprimas la esperon, ke li daŭrigos sian vivon ĝis plensatiĝo de jaroj. Ĝis li atingos eĉ la saman aĝon kiel Moŝe Rabejnu.

Ĉar Moŝe Rabejnu (= nia Rabeno) estis la unua kiu atingis precize tiun estimatan kaj honoran aĝon 120 jarojn. Oni diras ke li naskiĝis kaj mortis la saman tagon, la 7-an de Adar, kaj do atingis precize 120 jaroj. Kaj kiu Moŝe Rabejnu estis ni ja ĉiuj scias, ĉu? La ĉefprofeto de la hebreoj, la homscienculo, kiu eltrovis la UNUECAN nomon de la Dio de la Hebreaj Prapatroj, Kreanto de la Ĉieltero kaj reĝante Majeste super ĉio ĉi tio. Sanktulego, kiu parolis iom intime "interneidee" kun Dio mem. Kaj Moŝe estas ankaŭ grava profeto por/en pluraj aliaj religioj kaj konsiderata kiel diinspirita iom ĝenerale de preskaŭ ĉiuj religioj.

La aĝo 120 do estas grava kaj estimenda aĝo. Kaj multaj el la PLEJ GRAVAJ rabenoj, kiuj vivis dum la sekvaj epokoj atingis ĝuste tiun aĝon. Unue nia rabeno Hilelo. Mi nomas lin "nia", ĉar konigata per la Zamenhofa ideo "hilelismo" li ja apartenas al nia esperanta kulturo. Jes Hilelo fariĝis precize 120 aĝa. 40 jarojn li laboris, dum 40 jaroj li studis Toraon kaj 40 jarojn li estis ĉefrabeno.

Poste oni trovas ke ankaŭ Rabeno Johanan ben Zakaj atingis tiun aĝon. Estis li, kiu savis la judismon post la detruo de Jerusalemo, establinte novan studocentron en Javne, iom sudoriente de nuntempa Tel-Avivo.

やっと追加されたひとつの郵便切手

ジュレミ・ギシュロン(イスラエル)



私たちイスラエルのエスペランチストの間での大きな出来事は、2006年12月17日にエスペラントの郵便切手が発行されたことです。多くのその様な切手がそれこそ世界中で前世紀の間に発行されましたが、イスラエルにおいてはこれまで一度もありませんでした。そしてそのことは、私たちイスラエル人にとってたいへん残念なことでした。なぜならザメンホフは我が国民、国土に関係があります。またリトアニアのユダヤ人として、青年時代にはホベヴィ・ツィオン(シオンを愛する者たち)に積極的でありました。

主な記念として、その切手上に記されたのは...いわゆる公式な切手の理由は、私たちの言語が現在120周年に達したことでした。ユダヤの

伝統によれば、それは喜ばしく尊重すべき年数です。付録の用紙には私たちのマイストロ(ザメンホフ:訳者注)の没後90周年にもあたるということが記されています。私自身付け加えると、その発行日はザメンホフの“割礼日”であります—彼の誕生日であるユダヤ暦で“ケーテル”(王冠)と呼ばれる年の、キスレーウ(ユダヤ暦の第9月:訳者注)の19日より正確に8日後になります。

なぜ120年は格別の記念を意味するのでしょうか?“120年まで!”これは慣例の祝福のフレーズで、ユダヤ人(ザメンホフの文体に則り、私はjudoではなくhebreoと表記します)に年齢について質問する時、または誕生日に祝う時には、ていねいに欲求を表現しなければならないのです。その意味は、彼自身の人生を十分に評価できる年齢まで生きられるよう、そういう希望を表現しているのです。彼がラビ・モーゼと同じ年齢に達するまで。

なぜなら、ラビ・モーゼ(私たちのラビ)は120歳という尊敬すべき名誉ある年齢に正確に達した初めての人でありました。彼はアダル(ユダヤ暦の第12月:訳者注)の7日、生まれた月日と亡くなった月日が同じだったと言われており、そして正確に120歳に到達しました。そして私たち...それこそ全ての者がラビ・モーゼが何者であるかは知っているはずで、ユダヤ人の主なる預言者であり、天地の創造者であるユダヤの先祖たちの神の統一的な名前を見いだした人類学者、王として威厳を持って全てを統べながら。しばし親密に神自身と“精神の内奥”で対話した大聖人。そして、モーゼは他の複数の宗教にとってもまた偉大な預言者であり、またほとんどの宗教から、モーゼは常々神と交信状態にあったと考えられています。

ですから120歳というのは大切で賞賛に値する年齢であります。そして続く時代に生きた最も偉大なラビたちの多くも、まさしくその年齢に到達しました。まず我らがラビ・ヒレル。私は彼を“我らが”と呼びます。なぜなら、ザメンホフの思想“ヒレル主義”によって、彼はまさに我らのエスペラント文化に属していることが知らされているからです。そうです、ヒレルは正確に120歳に到達しました。彼は40年働き、40年トーラ(ユダヤ教の根本教典、旧約聖書の最初の5巻

Tria rabeno, kiu atingis tiun aĝon, estis Rabeno Akiva (= Akiba), de kiu ni havas la faman frazon "Amu vian Proksimulon kiel vin mem - tiu estas la ĉefregulo de la Torao". Jes, fakte estis tiu regulo, kiun Zamenhof elstarigis farante ĝin la ĉefregulo, ne nur de la Torao, sed ankaŭ de la tuta Hilelismo. Ankaŭ pri Rabeno Akiva oni trovas, ke li estis ŝafisto dum 40 jaroj, studis 40 jarojn kaj fine instruis 40 jarojn.

El la disĉiploj de Rabeno Akiva ankaŭ Ŝimon Bar Joĥaj atingis tiun aĝon de 120 jaroj. Ŝimon Bar Joĥaj estas konata kiel la Majstro de la Kabalo kaj la ĉefrolulo en la granda mistika verkego la Zohar (vorto, kiu signifas: Brilego).

Post Bar Joĥaj ankaŭ Rabeno Joĥanan, la kompilinto de la Jerusalema Talmudo (en okcidentujo nomata la Palestina, ĉar skribita en Galileo kaj ne en Jerusalemo) atingis tiun honorindan aĝon.

Kaj estas pliaj - se mi rajtas aldoni nomon de la islam-kristana mondo, mi povus mencii Jus Asaf kiu vivis kaj verkis en Kaŝmiro ĝis sia morto, atingante 120 jarojn. Li estis tamen pli konata per sia antaŭa nomo Jesuo ben Josef kaj li enmigris el Jerusalemo post stranga mistika morto kaj reviviĝo. Tia estas la instruo de la pacamanta islama sekto Ahmadio (konata ankaŭ en Israelo, ĉar grupo de ili loĝas en la kvartalo KABABIR en Ĥajfo kie ilie starigis sian propran moskeon kaj lernejon). Do, por afabli al la kristanoj kaj la islamanoj mi povas mencii, ke ne nur Hilelo, sed ankaŭ Jesuo atingis tiun estimatan aĝon!

Nur - nia Zamenhof bedaŭrinde ne atingis tiun celebran aĝon. Li estis iom peza fumanto kaj lia koro malfortiĝis kaj ankaŭ pro la malfacilaj tempoj, fizike kaj spirite, dum la unua mondmilito, lia koro fine malsaniĝis. Je la fino de tiu milito, post la ricevo de mesaĝo pri la morto de sia plej juna frato Aleksandro li mortis en la jaro 1917 nur 57 jara. Sed tamen li sukcesis fini sian lastan laboregon kiu estis tradukado de la tuta Hebrea Biblio (la kristana malnova testamento) en Esperanton. Tiun laboregon, li energie entreprenis dum tiuj malfeliĉaj kaj teruraj militaj jaroj.

Se Zamenhof estus vivanta tiel same longe kiel Moŝe, Hilelo, Ben Zakkaj, Akiba, Bar Joĥaj, Rabeno Joĥanan, kaj Jus Asaf, do ĝisvivante aŭtentike ĝis 1979 - ĝis la 15-a de decembro de tiu jaro laŭ la Gregoriana kalendaro kaj la 19-a de Kislev laŭ la Hebrea, tiam li ankoraŭ vivus dum tiu semajno kiam mi mem fariĝis novenmigranto en Israelo, atingante Hajfon per greka ŝipo kun mia edzino kaj unu-naskito Amos la 11-an de decembro 1979, kiu estas la 21-a de Kislev laŭ la hebrea kalendaro. Do nia alveno en Israelo kiel novenmigranta familio estis 2 tagojn post la 120-a naskiĝtago de Zamenhof laŭ la hebrea kaj 4 tagojn antaŭ tiu sama evento laŭ la Gregoriana kalendaro. Se iu leganto nepre POSTULAS ekzaktan koincidon:

をさす：訳者注)を研究し、40年チーフラビを勤めました。

次に、ラビ・ヨハナン・ベン・ザッカイもまたその年齢に到達したことが知られています。彼はエルサレム破壊の後にユダヤ教を救った人物です。現在のテル・アビブの少し南東の町ヤブネに、新たなユダヤ教の研究所も設立しました。

その年齢に到達した3人目のラビはラビ・アキバで、私たちの知っている有名なフレーズ“あなたの隣人をあなた自身を愛するように愛しなさい—これはトーラの主となる戒律です”は、彼によるものです。そう、実際にザメンホフが主な規則として突出させたこの規則は、トーラからのみでなく、ヒレル主義全体からでもありました。ラビ・アキバについてもまた、彼は40年羊飼いを勤め、40年研究し、最後に40年教えたことがわかっています。

ラビ・アキバの門弟であるシモン・バル・ヨハイもまた120歳という年齢に到達しました。シモン・バル・ヨハイはカバラ(旧約聖書の神秘的注解書：訳者注)の大家として、また偉大なる神秘的な大教典ゾハール(言葉の意味：光輝)の主役として知られています。

バル・ヨハイの後、エルサレムのタルムード(ユダヤ教の習慣法集成：訳者注)(エルサレムではなく、ガリラヤで書かれたため西洋ではパレスチナのと呼ばれている)の編纂者であるラビ・ヨハネもまた、敬意を表すべきその年齢に到達しました。

そしてさらに—もしイスラム・キリスト教の世界からも名前を付け加えることが許されるならば、120年の生涯を閉じるまで、カシミールで生き、著述したユス・アサフの名前を付け加えられるでしょう。彼はしかしながら元の名前であるイエス・ベン・ヨセフとして、より知られています。そして彼は奇妙で神秘的な死、そして復活の後、エルサレムから移住しました。そのことはイスラムの平和を愛する一派Ahmadio(彼らによって設立された固有のモスクと学校がある、ハイファのKababir地区に彼らのグループが住んでいるため、イスラエルでも知られています)の教えです。さて、キリスト教徒、イスラム教徒の方々親切に申し上げるなら、ヒレルだけでなく、イエスもまたその尊敬すべき年齢に到達したことを言及することができます。

ただ、我らがザメンホフは残念ながらその祝福すべき年齢に達しませんでした。いささかヘビースモーカーであったことが、彼の心臓を弱らせました。また肉体的・精神的に不幸な時期でもありました。第1次世界大戦中に彼の心臓はついに病気になりました。終戦時、彼の1番下の弟であるアレクサンドロの死亡通知を受け取った後の1917年、彼はわずか57歳で亡くなりました。しかし、彼は自身の最後の仕事を完遂することに成功しました。すなわちヘブライの聖書(キリスト教で言う旧約聖書)のエスペラントへの完訳です。この偉業に彼は精力的に着手しました。このような不幸せな、そして恐ろしい戦争の時代に。

もしザメンホフが、モーゼやヒレル、ベン・ザッカイ、アキバ、バル・ヨハイ、ラビ・ヨハネ、そしてユス・アサフと同じだけ長く生きられたならば、1979年まで確かに生きてでしょう。グレゴリオ暦であれば、その年の12月15日まで、ヘブライ暦であればキスレーウの19日まで。そうであれば、1979年12月11日、ヘブライ暦であればキスレーウの21日に、私は妻と一人の子アモスと共にギリシャの船でハイファに到着しましたが、私自身がイスラエルの新入植者となったその週の間、彼はまだ生きていたこととなります。つまり私たちのイスラエルへの新入植家族としての到着は、ヘブライ暦ではザメンホフの120歳の誕生日の2日後、グレゴリオ暦ならばその日の4日前ということとなります。もし読者で厳密な一致

Eblas mencii, ke la sanktigadon de sia "Lingwe Uniwersala" (proto-Esperanto) Zamenhof festis kune kun kelkaj klasamikoj precize la 21-an de Kislev, 101 jarojn antaŭ mi kaj mia familio enmigradis al Israelo (Ankaŭ tiu cifero 101 havas signifon, ĉar ĝi estas la cifervaloro de la Anĝelo Miĥaleo en la hebrea - En OOMOTO vi povas kompari en "Reikai-monogatari" - "Mi" estas tri kaj "ĥaelo" estas ŝanĝo).

Ankaŭ al la nuna poŝtmarko, ekzistas "proto-Poŝtmarko". Antaŭ 40 jaroj preskaŭ aperis Esperanta poŝtmarko ĉar planante aranĝi la Universalan Kongreson de Esperanto en Tel-Avivo en 1967 oni petis al Poŝtaj Servoj eldoni por la okazo agrablan poŝtmarkon. Oni fakte jesis tion kaj kiam la Centra Oficejo en Roterdamo fine decidis translokigi la UK-on anstataŭe al Roterdamo, pro la ses-taga milito kaj la novaj politikaj cirkonstancoj, kiuj tiam kreiĝis, jam estis preta miliono kaj ses cent esperanto-israelaj poŝtmarkoj. Ni sciis pri la pozitiva decido eldoni tian poŝtmarkon, sed neniu ke ili ĉiuj jam estis pretaj kaj ke oni sekrete decidis detruigi la tutan stokon. Nur nun, okaze de la nova poŝtmarko, ni ricevis informon pri tio, kvankam Arie Olbaski de la Postaj Servoj antaŭ sep jaroj estis skribinta artikolon pri la afero, kiun ni ĝis nun preteratentis.

Nu, ne pli pri tiu iom malgaja evento, sed pri la nova, la agrabla sukceso denove konvinki la aŭtoritatojn eldoni tian poŝtmarkon, mi volas paroli. Ni esperantistoj en Israelo estas ege dankemaj ĉefe al S-ino Akademiano Malka Zemeli, kiu, en la vortoj de nia Prezidanto Josef Ŝemer, "sukcesis formovi la obstinajn montojn kaj ebligi la aperigon de la poŝtmarko". Aktivan rolon en tiu aperigo ludis ankaŭ Jehoŝua Tilleman, kiu dum lastaj monatoj multe kaj pene laboris estante en daŭra kontakto kun la dezajnistoj kaj la diversaj aŭtoritatuloj pri aferoj kio koncernas la efektivigon de la eldonado. Malka Zemeli ni jam antaŭe kareŝnomis "La Reĝino" inter ni, ĉar tio ja signifas ŝian nomon en la hebrea.

Sur la aldona al la poŝtmarko plej sube estas skribita verso el la Biblio: "Sur la tero estis unu lingvo kaj unu parolmaniero" (Genezo 13.1). Tio montras al la paradiza epoko antaŭ la Babel-Tura epizodo kaj la konfuzo de la lingvoj. UNU lingvo - do eble Esperanto, sed kio estas "parolmaniero" - Tio estas DVARIM AĤADIM en la hebrea. La antikva komentariisto Ibn Ezra klarigis ke tio ja esits "la religia dimensio". Ke tiam unueco regis ankaŭ en la Sfero de Religio. Kaj oni (kelkaj esploristoj) klarigas ke tio inspiris Zamenhof komenci ankaŭ kun sia "hilelisma projekto" - unuigi la religion sub neŭtrala tegmento.

(P.S.)

Pasintmonate mi skribis pri Jeshivo DVAR Jerusalem. Tiu estas la sama vorto DVAR kaj ĝia pluralo DVARIM.

を絶対に必要とする方がいるなら、言及することは可能です。ザメンホフは数人の級友と共に自身による“Lingwe Uniwersala”(エスペラントの原型)の神聖なる誕生を祝ったのは、私と家族がイスラエルに移住したちょうど101年前のキスレーウの21日です。(この101という数字にもまた意味があります。なぜならヘブライの天使ミカエルにとって意味のある数だからです。一大本では、あなたがたは”霊界物語“を通じて理解することができます。-”ミ“は「3」、”カエル“は「変える」と。)

現在のこの切手にもまた“原型 切手”が存在します。40年前にエスペラントの切手は発行寸前になりました。なぜなら、1967年にテル・アビブでのエスペラント世界大会を準備する計画があり、その機会に感じの良い切手を発行してもらえるよう郵便業務機関に働きかけたからです。実際にそのことは承諾されましたが、6日間戦争(第3次中東戦争: 訳者注)と新たな政治的諸事情により、ロッテルダムのUEA本部が世界大会の開催代替地をロッテルダムに変更するという最終的な決断をした時、既に1,000,600枚のイスラエルのエスペラント切手が用意されていました。私たちはこのような切手の発行が決定されたことについて知っていました。しかし、これらの全てが既に用意されていたこと、また、全ての在庫を破棄する決断が密に行われたことについては誰も知りませんでした。ただ、今回、新切手発行の話がありましたので、私たちはこのことについての情報を知ったわけです。7年前に郵便職員のアリエ・オルバスキが、この出来事についての記事を書いていたのですが、私たちはそれを今にいたるまで見落していたのです。

さあ、このあたりでいささか暗い出来事についての話はやめにして、新しい話題について、つまりこのような切手の発行を当局に再び納得させた心地よい成功談について話してみたいと思います。私たちイスラエルのエスペランチストは、主に学士院会員のマルカ・ゼメリ女史に対して非常に感謝しています。女史は、私たちの会長であるヨセフ・シェメルという言葉借りるなら“動かぬ山を押しつけることに成功し、この切手の発行を実現させた”人です。イエホスア・ティルレマンもまた、この発行における積極的な役割を果たしました。彼は先月中、デザイナーや様々な当局者たちに、その発行を実現させることに関係があることについて、コンタクトを取り続けながら、汗水たらして必死で働きました。マルカ・ゼメリは私たちの間で、既に前々から愛情を込めて“女王”と呼ばれています。なぜならそれは、ヘブライ語でまさに彼女の名前を意味するからです。

その切手の付録の最下段に“世界に一つの言葉と一つの話し方があった”(創世記13.1)という聖書の詩句が書かれています。これはバベルの塔のエピソード以前の樂園時代、そして言語の混乱を示しています。一つの言葉—それはエスペラントでありましょう、しかし“話し方”とは何でしょうか?—それはヘブライ語のDVARIM AHXADIMの中にあります。古代の論評家イブン・エズラは、それはまさに“宗教的次元”であると説明しています。その時、統一性が宗教の領域をも統治していました。そして(何人かの研究家は)説明しています。すなわち、そのことがザメンホフに、自身による“ヒレル主義計画(中立的な屋根の元で宗教を統一させること)”をも始めることを思いつかせたと。

(日本語訳: 平岡康)

エスペラント入門

講師 坂本弓代

絵：大和田そよ

Kiu estas vi ? あなたは誰？

キウ エスタス ヴィ

今月の単語

Kiu

Amiko

Amikino

キウ

アミーコオ

アミキーノオ

誰

友(男)

友(女)

「私は・あなたは～です」が言えれば 次は名前をたずねてみましょう。
あなたは誰ですか？

Kiu vi estas ?

キウ ヴィ エスタス

Mi estas Taro.

ミー エスタス タロー



声にだして Kiu (キウ) は強めに estas? (エスタス) は普通に、日本語ではですか と少し上げていますが、エスペラントでは **Kiu** をはっきり発音すれば尋ねられていることがわかります。

Kiu vi estas? のように

キウ ヴィ エスタス

さらに Vi estas **amiko**.

ヴィ エスタス アミーコオ

あなたは友人です

Vi estas **amikino**.

ヴィ エスタス アミキーノオ

あなたは友(女)人です

Hana estas **amikino**.

ハナ エスタス アミキーノオ

Taro estas **amiko**.

タロー エスタス アミーコオ



エスペラント入門

答えてみましょう

Kiu estas amikino?
キウ エスタス アミキーノオ

Kiu estas amiko?
キウ エスタス アミ コオ

わが輩は猫であるは

Mi estas kato.
ミィ エスタス カートオ



で雌は？



人と対面した時、いきなり名前を尋ねるよりちょっと声をかけた方が良いので

Saluton やあ, こんにちは, などといい
サルートン

Saluton ! Mi estas _____.
サルートン ミィ エスタス

Saluton ! Kiu vi estas ?
サルートン キウ ヴィ エスタス

さあ言ってみましょう!!



2006年12月号の問題

初級 A. 次の文をエスペラントにしてください。

1. Kelkaj homoj sentas sin la plej feliĉaj.
2. En la ĉambro sidas nur kelke da homoj.
3. Lia amiko ne estas granda, sed li ne estas ankaŭ malgranda.
4. Li estas tiel dika, ke li ne povas trairi tra nia mallarĝa pordo.
5. La nokto estis tiel malluma, ke ni nenion povis vidi eĉ antaŭ nia nazo.

B. 次の文を日本語にしてください。

1. この古いパンは固くて石のようだ。
2. 悪い子共たちは動物をいじめるのが好きだ。
3. 私はこの卑劣な人を軽蔑します。
4. その窓は長い間開けられたままでした。
5. 私はその窓を閉めたのですが、私の父がまた開けました。

中級

A. 次の文を日本語に訳してください。

Dum la grupo plueniris al marbordo Jano klarigis pri la utilo kaj virtoj de la *Rana temporaria* al Dol Rua, parte citante la malpli fantaziajn pretendojn de sia onklo, parte relative fidindajn fontojn; ĉar li ne atendis daŭran toleremon de la knaboj, kaj deziris, ke la potenca proteksto de Dol Rua fontu el konvinko pozitivita.

B. 次の文をエスペラントに訳してください。

エリザベス女王 509万ポンド、エディンバラ公の 24万5千ポンドなど、女王を始めとする王族は、The Civil List と称する王室費を毎年政府から受けているが、形は政府から受けていても、これは国民の税金から支給されているものではない。本来は国王の所有する王領の地代、鉱業権（地下埋蔵資源は国王のものとなっている）などの上がりの一部を、王族は受けているのである。（『英国史のティータイム』から）

通信添削 2006年12月号の解答

初級 A.

1. 自分が一番幸せだと思っている人たちがいる。
2. 部屋の中には数人だけが座っています。
3. 彼の友だちは大きくはないし、しかしまた小さくもない。
4. 彼はたいへんに肥っていて、私たちの家のせまいドアを通り抜けることができない。
5. 夜はたいへん暗くて、私たちの鼻先でさえも何も見ることができなかった。

通信添削問題

通信添削2月号の問題

初級 A. 次の文をエスペラントにきなさい。

1. La edzino de mia patro estas mia patrino.
2. Sur la korto staras koko kaj kokino.
3. Mia fratino estas tre bela knabino.
4. Mia onklino estas bona virino.
5. Mi vidis vian avon kun liaj tri nepoj.

B. 次の文を日本語にきなさい。

1. 彼の母は私の義理の妹です。
2. 私は雄牛と牝牛を飼っています。
3. 今日の競馬は牝馬のレースでした。
4. 若い未亡人は再び婚約者となりました。
5. 私の万年筆は高価ではないが、安物でもない。

中級

A. 次の文を日本語に訳きなさい。

Ili jam proksimiĝis al la marbordaj rokegoj, kiam Alan, plej juna el la vilaĝanoj, ekkris: "Jel Wili Pek!", kaj ili rimarkis, ke alkuras ilin kanabo, kies hirtaj flavaj haretoj kontrastas kun la ruĝo de rikananta vizaĝo. Erĉi, Alan kaj la kvara vilaĝano, Rori, tuj eklevis ŝtonojn kaj ekΔtis kontraŭ la alvenanto por malpersvadi pluan proksimiĝon. Wili Pek haltis kaj grimacante demandis, kial li ne venu kun ili, kien ili iras, k.t.p., interdemande insultante pro la apudo de la Δtitaj ŝtonoj, ĝis fine unu el tiuj trafis rekte en lian vizaĝon, kaj li falis surdorsen ŝirkriante.

B. 次の文をエスペラントに訳きなさい。

(歌祭を) 聖師様のお志をお継ぎになって、二代様が復活なさったのは昭和25年でした。以来三十有余年、この行事を継承させていただいてまいりましたが、歌祭りが大本の重大な神事であるという意味の上に、私にとりましては、聖師様、二代様への追慕の情が、色濃く加わっているでございます。(『三代総裁お言葉集』より)

宛先 〒621-8686 京都府亀岡市天恩郷
エスペラント普及会 誌上講座通信添削係
(返信用封筒に切手を貼ってお申込み下さい)



? の不思議発見が大切

EPA 理事 平井 淳

Esperanto tiel parolata
「エスペラントはこうして話す」
藤本達生 著

イ・チュンギ ハングル訳
에스페란토 말하기



原著は汲めども尽きぬエスペラントの名水の井戸。これをすぐにハングル訳。これはすごいことだ。

原著作者の藤本先生からイ・チュンギ氏のハングル訳の書評を依頼された。私のハングル力は極簡単な日常会話レベルなので、訳の評価ができるわけではない。なおにお引き受けした理由は、原著の意味深さに気づいてすぐに翻訳を実行したイ・チュンギ氏の洞察力、識眼の高さに敬服し、その後押しをすべきと感じたからである。

今回は、単純な書評ではなく原著自体とその訳し振りを紹介し、両方の本の「しゃぶりつくす」方法をお見せしたい。原著自体、使い方によっては単純な会話本ではないので、私はしゃぶりつくすべきと考えているが、しゃぶるという語が下品であるなら、全てを余すところなく、おいしいところを捨てることなく味わう、とご理解願いたい。以下、レベル別に味わい方を書く。

<入門、初級者へ>

音読しつつ、意味のイメージをもつようにしましょう。気持ちを込めて、そうしているといろいろな???に出会います。

例) Ĉu vi scipovas danci? <La Unua Parto 10. Pri la balo から引用>

あなたは povas を知っている。だから、「あなた、踊れますか」と言いたいときはすぐに、Ĉu vi povas danci? と言っているはず。正解です。間違いではありません。でも、ここで意識しておかないと一生、エスペラントらしい語 scipovas が使えない可能性があります。Ĉu vi scias, kiel danci? と言ったことはありますか? 「どう踊るのか、ご存知ですか」のニュアンスですね。scipovas はこのニュアンスに近くなります。単純に能力、可能性だけを聞く povas とは違いますね。そう、お気づきのように scipovi は sci + pov の造語で

書 評

すから「知っている」と「能力がある」の意味を合わせ持ってます。

でも、実際の使用例に触れないとそのニュアンスがつかめないものです。こういったことは意識していないと、中級、上級になってもpovasしか使わない、となるものなのです。「なぜ、Ĉu vi povas danci? って言わないの?」というようなたくさんの?が原著の中にあります。こういう?を意識して見つけるのがポイント。見つけたら日本語訳や講師、辞書、独習書を頼りに「あれっ?」と思う箇所を自分で解決し、後は音読継続で慣れて体になじませましょう。「?の不思議発見」が大切です。これができるようになったら、あなたはあつという間に中級者です。

< ハングル派へ >

もし、あなたが筑紫の国際エスペラント合宿などに参加しハングルに興味を持ち、かじり学習していたりすると、この訳本と原著の合わせ読みは最高のハングル教材となり得ます。

先ほどの Ĉu vi scipovas danci? のハングル訳を見て下さい。

당신은 춤을 출수 있나요?

エスペラントと同様ですが、あなたがハングルのしゃべるときについ、

출수 있어요? でいつも済ませたりしてませんか? 「나」を使うことによって推し量る気持ちがこもってますよね。なるほどと感心させられるはずです。こういった使い分けを身につけるにはこの本は有益です。言える、通じますがまず第一に必要なのですが、これに慣れてしまうと次の段階へ上がる妨げになります。違いがわかることが次段階へのステップとなります。

ハングルを読むときの注意点としては、訳者は韓国の学習者を対象に翻訳しているので、エスペラントの意味が取れるように書かれており、viの訳語である「당신」を会話で使うわけではありません。ご存知のように、相手を主語にしたければ相手の名前に敬称をつけるか、省略するのが無難です。だから音読しても丸暗記してはいけません。よく意味が体に染み込んできたら、普通のハングル会話でどう言うのか、イメージしてみてください。イメージして繰り返し、繰り返し口元でつぶやく。これが言葉を習得するときの王道です。

< 中、上級者へ >

例) Jes, mi estas indiĝeno. < La Unua Parto 22 Butikumado から引用 >

中、上級者なら入門、初級者を教えたりしますね。すると、上記例では「先生、ここの indiĝeno という語は、訳では「土地の者」となってますが、辞書

では「原住民・先住民・現地人」の訳です。「こんな使い方するんですか？」のような質問があがったりするはずですよ。その時の答えを用意しておきましょう。

「いい質問ですね。エスペラントの *indigĝeno* という語は、もともと『その土地に元から居住している人』ぐらいの意味しかありません。あなたは原住民という言葉に未開人といったイメージが含まれているのを知っているから、*indigĝeno* という語と土地の者という表現を結び付けることが不思議に思われて質問したのでしょう。*indigĝeno* という語に未開人といった観念はありません。なぜなら、そういう観念を持たずに人間はみんな同等のものだと思っているのがエスペランティストなのだから」

これぐらいのことは言えるように、前もって準備しておきましょう。

そう、訳も工夫されてるんです。中級、上級者もう～んとうならせられるものが随所にあります。

ではもう一例。

例 2) *Mi silentas pri gusto de la mia.* <La dua parto 5 En la kafejo から引用 >

周りの人たちがそれぞれ自分の飲み物をおいしいって言っていて、あなた自身はそれほどでも、と思っている場合、日本語ならどう言うのでしょうか？普通の日本語では、「う～ん、私はどう言ったらいいんだろ。難しいな。Cさんのほうのお味はどう？」などといってほかす表現が無難ですよ。で、この日本語の言い方に引きづられて、“*Nu, kiel diri pri la gusto. Estas malfacile diri. S-ro C, kia estas la via?*”なんて言ったりしてるものなのです。しかし、エスペラントでものを考えている人は上記例のような言い方で必要十分なのです。そして、エスペラントらしくて自然です。

なるほど、と思ったあなたはすぐに原著書を開いて見直してみてください。まさに汲めども尽きずの世界があります。でもどこがどう違うのか、さっぱりわからないという状態ならまず音読をしてイメージを深めていってください。理解をあせらず、なおかつ理解をあきらめず、日々の祈りを深めるような感じでね。

< ハングル派の中、上級者へ >

例) の *indigĝeno* の訳語は **원주민** となってます。私はこの **원주민** という語を会話の中で使ったことがないので、私と机を並べて仕事をしているプサン外大日本語科卒の20才代の韓国女性に聞きました。すると、**원주민** (ウォンジュミン：原住民)よりは **현주민** (ヒョンジュミン：現住民)のほ

うがまだ使用頻度が高いが、普通は使わない。土地の者なら 토박이 (トバギ) という語のほうがぴったりなのでは、というお答えでした。なるほど。토 は土、밭 は場所、方角、이 はもの、人だからまさに土地の者の意味ですね。そして、ハングルの 원주민 という語に彼女は野蛮人というニュアンスを感じるのでめったに使わないともコメントしてくれました。でも、あくまでも韓国の一個人の思いなので、大部分の人がそう感じているかは不明なんです。彼女は日本語の夢をみるほど勉強した人なので、日本語の影響があるかもしれません。

もし、あなたが韓国の人と会ったなら、ぜひ聞いてみて下さい。

本当は日本語の原住民、ハングルの 원주민 も言葉としては中立で、変な意味を持っていなかったはずなんです。手垢にまみれてしまったのかもしれません。本書の訳者は日本語訳にとらわれず、エスペラントからそのまま訳しています。たぶん、ここをどう訳すか迷ったことと思います。訳者は韓国のエスペラント学習者を念頭においており、ここをあえて 원주민 にしたと思います。そして、韓国の 원주민 も本来中立な語であることを教えるのだらうと思われま。朝鮮半島の 원주민、日本列島の原住民(先住民)はそれぞれ存在しているのですから。

例 2) の訳を見て、あなたは、はたと手を打つべきです。味にあたる 맛 という語はいっさい使っていません。gusto de la mia が 나의 것에 대해서 (ナエ ゴセ テヘソ: 直訳で、「私のこと(もの)に関しては」ぐらいかな)に全て含まれています。ご承知のようにハングルでは日本語よりも窺知の事柄やテニオ八なども省略することが多いのですが、ここはその好例です。silentas を 말라지 않겠어요(マラジ アンゲッソヨ: 直訳で、「話すことはありません」)と言っているのもハングルらしいでしょ。

だから、エスペラントと日本語と対比しつつ、ハングルでイメージして音読していくとあなたの頭のなかに多言語処理回路が作られていきます。何語でもいいのですがこの回路が出来上がるとどの言語を習得するのにも習得時間が短くなっていきます。これは実証されています。だから、音読をしましょう、イメージしましょう、決して丸暗記はしようとはせず、かってに口から言葉が飛び出してくるまで音読をしましょう。なにが教科書的で、なにが生きた言葉なのか、実感できるまで音読しましょう。

<最後に>

ご紹介したように、この原著は21世紀の新しいEkzercaroではないかと私は思っています。このハングル訳本と原著の違いは、1.人名が韓国の人にとって親しみやすい人名に変えられていること2.最後にイ・チュンギ氏が指導で使っている「絵で見る前置詞」が最後に付け加えられていること等ぐらいで、オリジナルを守りつつ、現地の学習者への配慮をしながら訳されています。ご参考までに以下に、訳者のハングルでの後書きの抜粋を日本語訳しておきます。

「翻訳を終えて、今年の6月、日本の大本教と円仏教との間での宗教協力に関連する仕事で私は大本本部がある亀岡を訪問したのだが、この時、かねてから親交を深めている藤本達生氏から一冊の本の贈呈を受けた。

この本は来年8月、日本の横浜で開催される世界エスペラント大会に備えて同氏が書き著した会話本であった。

私はこの本が世界エスペラント大会に参加する韓国の初心者たちにとっても、大変役立つものであると考え、その場で同氏に韓国語へ翻訳したい旨を表明し、許可を求めた。藤本氏の目の醒めるようなご快諾とともに、この本を刊行した日本エスペラント図書刊行会の責任を担っておられる峰芳隆様のご配慮により、本書はこの世に現れることになった。(中略)

まず、世界エスペラント大会に参加する方々に有益なものとなるであろうと信じており、また、エスペラントの集会の場においてよく使われる実用的な対話が満載されているので、実際の会話の場面でも多大な助けになるであろうと信じてやまない。(後略)」

<付記：ハングルについて>

ハングルという言葉はご承知のように文字を意味し、言語を意味しません。私は普段、会話ではハングルではなく韓国・朝鮮語と言っています。しかし、本稿には現今の流れを汲み、あえてハングルの言語という意味で使いました。古来からの雅語である朝鮮という言葉が本来の雅語として使われないことが多いからです。雅語が雅語として使われる日の近いことを願っています。

EPA 支部活動報告

EPA 枚方支部 森田陞（代議員）

枚方支部（名称：グループ・あけぼの）は、2002年7月に活動を始め、4年が過ぎました。現在の学習者は4名ですが、このほかに、2名がお住まいの近くの勉強会に移って継続されています。

枚方市のさだ生涯学習市民センターに教室を借りて、毎週火曜日の夜に集まります。普段はメンバーのみで勉強をしますが、月に一度EPAの松本公夫先生に来ていただいています。

学習者の平均年齢は、60歳を越しましたが、「倦まず弛まず、継続は力なり」をモットーに、エス語学習にいそしんでいます。

教材は、「辞書がなくても学べるエスペラント語入門」を使い、29課まで来ました。もう少しで終わります。

このほかに、MIL UNUAJ VORTOJ EN ESPERANTOの絵本を使っています。これは、ページをカラーコピーして厚紙の表にイラスト、裏にエス語を貼り付けて、カルタ取り形式で単語の習得に使っています。楽しみながら単語を覚えるのに役立っています。

「辞書なし」テキストが終われば、やさしい読み物をしたいと思います。

今年（2007年）は世界大会の年なので、「大会に役立つ百の会話」を毎回音読しています。そして、綾部のプログラム“Bonvenon al Oomoto en 2007!”には、全員何らかの形でお手伝い出来るように、と願っております。

Pura Kristalo 支部 川上公平（代議員）

毎月EPAより講師（大久保先生）に遠路お出で頂き、新潟市内のクロスパル公共施設または、私の自宅にて毎月1回勉強会を行っております。参加者は、未信徒の方3名が加わり、総勢7名です。

60歳以上の方々ばかりで（1人50歳代）、速度は遅々たるものですが、確実に一步一步前進いたしております。そして、人生経験が豊富で前向きな方々ばかりですので、エスペラント以外にも勉強するところが多く、意義深い楽しい集いとなっております。今後とも、ずっと継続させていただきます。

後藤純子（代議員）

KLEG所属の大阪エスペラント会委員としては、微力ながら活動しています。毎木曜日夜、テキスト“RAKONTU SAMIDEANO”を使って、中級

EPA 支部活動報告

講座の gvidanto をしています。

11月末より英知大学の沼波先生からのご依頼で、禅の研究のために来日しているドイツ人女性(42歳)に、エスペラントで日本語を教えることになりました。日本の小学生に教えるように指導して欲しいという希望です。その内機会を作り、EPA 本部にもご案内したいと思っています。

矢野欽男(代議員)

年間：月3回勉強会 会員数：25名 出席者：約12名(毎回) 毎年9月新人募集。現在1名：5回2,000円テキスト代含む。大本信徒は3名です。池田・豊中エスペラント会で催し物がある時は、お手伝いをしています。毎年、ザメンホフ祭は合同で行います。当方はいつも人形劇を上演。

11月3日、吹田メイシアターで吹田市民文化祭を開催。毎年、文化の日にメイシアターで行います。今年は、ユージニ・アーマンさんと広島女学院大学の森下峯子先生とをお招きして、世界連邦運動のお話をいただきました。人類愛善会の山崎先生の助け舟で、楽しいひと時を過ごし、勉強になりました。

EPA 熊野支部 熊野支部長 藤本浄

熊野分所の毎月次祭後に、ESP ミニ講習会を行っています。エスペラントを話すと大変和やかな雰囲気になり、皆さん喜んでいただいています。

EPA 豊穰支部 豊穰支部長 松浦安仁

- 1 北陸本苑でのエスペラントクルソーに、支部より2名が参加(月2回)
- 2 第93回日本エスペラント大会(岡山)に吉村眞澄さんが参加。
- 3 エスペラント学力検定に、吉村眞澄さんが3級合格。現在は、エスペラント通信講座も受講中。

EPA 名古屋支部 名古屋支部長 瓜生秀明

名古屋支部の活動としては、下記のようにエスペラント講習を外部講師をお招きして行っています。

日 時 月に3回 水曜日 18:00 ~ 20:00
場 所 名古屋エスペラントセンター
参加者 6名(すべて名古屋分苑信徒)

EPA 支部活動報告

EPA 阿波池田支部 阿波池田支部長 島崎幸雄

同支部学習会は、各人の自主学習を継続するようにしております。

EPA 笹岡支部 笹岡支部長 山足隆是

- 1 分所月次祭時に一部分エスペラントできるようにして、少しでもエスペラントを分所の信徒の方々に伝えています。(二代教主さまの三首のお歌も、まずエスペラントで私は唱えています)
- 2 笹岡短歌会(月例)の度に、毎回エスペラントで簡単な挨拶をするようにしていますが、組織的な勉強会はまだできていません。

EPA 和歌山支部 和歌山支部長 中井宏 (La klubo 紀ノ国)

和歌山主会エスペラント部は、平成16年春から出口真弓先生を紀伊分所にお迎えして ALFABETO から講習会を始めましたが、広域のため分散して講習会を開催しなければならないために、指導者不足で全域での講習はできていませんが、現在では3カ所でそれぞれに学習を継続しています。

特に、紀伊分所と名草支部では、松下享代さんの温かいご支援で学習が進められており、感謝にたえません。受講生の中には84歳の方もおられて、頭が下がる思いです。今後とも、ご支援をお願い致します。

会場：紀伊分所 責任者：中井 宏 講師：松下享代(エスペランチスト)
月回数：2回昼 年代別人数：50代1名 60代2名、70代2名、80代2名
特徴：シルバー組です、簡単な挨拶など、愛善歌を楽しく和やかに練習

会場：名草支部 責任者：南方 陽 講師：松下享代(エスペランチスト)
月回数：1回夜 年代別人数：50代5名 特徴：お伽噺の翻訳を始めました

会場：田辺分所 責任者：松下太三郎 講師：松下太三郎(前会長)
月回数：4回夜 年代別人数：30代4名 特徴：主に講習読本等を基本に学習

EPA 京都支部 京都支部長 成田和子

EPA 京都支部では月に2回、第2・4土曜日の18時より、山本さんにご指導いただき、毎回10名程度の参加者で「辞書がなくても学べるエスペラント」を基に、単語を入れ替えながら各自が文章を作成し、それを順番に

EPA 支部活動報告

読んでいます。最近では、単語を覚えるためにエスペラントの歌を練習しています。そして、今年の春の大祭時に、本苑で奉納させていただきたいと考えています。

EPA さかえ支部 さかえ支部長 行成崇

大本の大切なご神業の一つとしてエスペラントの普及に努めています。

1 第1日曜日

(1) さかえ支部

(2) 14:00 ~ 15:30

(3) 資料 毎月の「おほもと」誌のコラム「サルートン・エスペラント」より

2 第2日曜日

(1) 大本高松分所

(2) 13:30 ~ 15:00

(3) 資料 日エス会話練習帖

3 第4日曜日

(1) 香川アイパル(国際交流会館)高松

(2) 13:30 ~ 15:30

(3) 講師 香川エスペラント会長 小阪清行先生

EPA 三重支部 三重支部長 川村清治

会員の職務上、並びに転居等あり、本年度は活動休止。

EPA 小松支部 小松支部長 金子藤央

本年度の主な活動

定期講習会

平成18年1月13日より、大本北陸本苑を会場に、第2・4金曜日夜に定期講習会を開始。時間は約1時間半。参加者は、県内の金沢支部員・豊稜支部員を含め、毎回約5~10名で推移。教材は自由教材で、入門・初級者を対象にしたゲームを作成したり、やさしい内容の教材で今後の参加者の増加もねらいにしている。

1) 臨時講習会

平成18年6月23日、24日 EPA事務局長・吾郷孝志氏を迎えて大本北陸本苑を主な会場に、金沢支部主催(小松支部・石川E会共催)の講習会に小松支部より3名が参加。入門・初級クラス(石川E会代表・川西徹郎

EPA 支部活動報告

氏が担当)と中・上級クラス(吾郷氏担当)にわかれて大本信徒・石川E会員・韓国人留学生を含む約25名が受講。川西クラスではエスペラント学習への導入、健康についての話も交えた多彩な内容となり、吾郷クラスでは藤本達生氏の「エスペラントはこうして話す」を教材に実践会話に挑戦。初めてE講習を経験した参加者から「次回はいつですか」との希望の声も頂いた。

平成18年9月9日 EPA常務理事・裕大福氏を迎えて、金沢市広坂にあるNPO支援センター「あいむ」を会場に、金沢支部主催のEPA認定級上級取得者を対象とした講習会に、小松支部より2名が参加。事前の宿題としてエスペラント作文を各人で作成、当日は発表を行なった。基本的に講話・会話は全てエスペラントで、参加者からは、充実感と疲労感を同時に感じたとの感想が聞かれた。

2)その他

夏休みの「大本北陸本苑少年夏期学級」では、青少年向けのエスペラントゲームを指導するなどの活動も行った。北陸本苑が小松市にあることで、色々な活動の幅が広がった。今後も継続していきたい。

平成18年4月29日に大本北陸本苑に於いてEPA認定試験を実施、受験者は7名。小松支部員のうち合格者は次の通り。

金子藤央・金子暁美(1級) 岩田和美・岩田やよい(4級)

EPA 苫小牧支部 苫小牧支部長 柴田智美

10月14日、吾郷孝志先生をお迎えして、苫小牧東支部月次祭、人類愛善会講演会、その後、柴田宅にてエスペラント講習会を開催いたしました。参加者は15歳～50代の7名。エスペラントを始めて1年半～2年半の学生と、青年期の記憶を呼び戻して懐かしいフレーズに親しむ大人が、共に机を囲んでエスペラント学習に楽しい時を過ごしました。

初日の夕食後に講習会を開始。エスペラントのCDを聴いて耳を慣らし、その後、入門と初級の2班に分かれてご指導していただきました。入門の参加者はEPA4級保持者ですが、まず5級のテキストを復習してから、「新エスペラント講座」のテキストを使って教えていただきました。

初級の参加者は、エスペラント単語練習帳を使って講習していただきました。単語を読んでテキストの例文を読み、用法や文法の解説をしていただき、参加者が次々に例文を考えて話をしました。口も頭も耳も手もフル回転です。受講者は、吾郷先生のパワフルな講義に、エスペラントの空気

EPA 支部活動報告

の中に引き込まれていきました。

2日目の夕方、1名がEPA認定試験を受験しました。最後に、イタリアンレストラン、パスタ・デ・ドームで夕食。吾郷先生から、フィレンツェでの世界大会のエピソードなどを聞かせていただきました。

私たちの長期目標は、エルサレムでの歌祭に参加することです。エスペラントで短歌を作り、エスペラントで世界の人々と平和について話し合うことです。短期目標は、2007年の横浜での世界大会で、参加者の方々と少しでも会話ができるようになることです。

あまり時間がありませんが、日々の生活の中でエスペラント学習を継続して行うのは大変です。今後とも、支部員が集まって集中してエスペラントに浸る機会を作っていきたいと思います。亀岡で開催されるエスペラント越年合宿にも、数名参加させていただきたく予定です。講師の諸先生、普及会の皆さま、よろしくお願い申し上げます。

地方エスペラント活動報告

奈良主会 代表 中島操 報告：豊田珠美

去年の9月から始めて、ようやく1年がたちました。月に1度、第1土曜日の午前10時～12時に奈良の明日香村にある「岡の家別院」にて行っております。岡の家別院は明日香村の小高い岡の上にある集落の、一番見張らしの良い場所にある建物なので、その眺望はすばらしく、甘樫の丘や畝傍山や二上山など眺めながら、四季おりおりの自然にふれつつの勉強はとても気持ちがよく、学習も大変よきはかどり？ます。

日本人の心のふるさと・明日香での開催に大変意欲深いものがあるのではないかと思われます。平均年齢は50代で約10名ほどの出席があります。内容はテキスト「Lernokajero de Esperanto-kvina grado-」を使ってABCの書き取り（毎回）、その後、前回の復習、そして次へ進む...といった感じで、ゆっくりとなごやかな勉強会です。

ときには脱線につく脱線で、話しがとんでもない方角へいってしまうこともあります。講師の奥脇先生は丁寧に対応してくださるので、「とてもわかりやすく楽しい」と受講者からの声があり、大変に好評です。

6月には関西エスペラント大会の朗読の部に1名出場しました。7月に行ったEPA試験では、受験者9名中7名が、5級と4級の認定をいただきました。今後は、さらに上のランクに上がれることと、国内でのエスペラント大会に積極的に参加し、一日も早く「会話が成立するくらいまで上達する」のを目標に、これからも頑張りたいと思っております。

第 17 回国際エスペラント合宿のご案内

期 間：2007 年 3 月 24 日(土)・25 日(日)〔福岡からの参加団は 24 日～27 日〕
会 場：韓国 清道(チョンド)郡 南岡(ナムガン) 書院
費 用：45,000 円程度 [交通費、参加費、観光、食事、宿泊料金込み]
予定日程：3 月 24 日(土) 午後 9 時半博多港出発 午後 12 時半釜山港到着・昼食
関西空港からの参加団と合流し会場へ移動 午後 4 時開講式 / 学習 / 懇親会 / 宿泊南岡書院
25 日(日) 午前中学習 午後 3 時 閉講式 午後 4 時釜山へ移動 夜 釜山のエスペランチ
ストと夕食 宿泊 釜山市内のホテル
26 日(月) 全日 釜山観光とショッピング 午後 8 時 釜山港発(夜行フェリー：かめりあ)
27 日(火) 午前 7 時半 博多港着
申し込み：【先着 12 名】住所、氏名(ローマ字も)、電話番号、生年月日、パスポート番号と
有効期限を松本朗氏までご連絡下さい。
メール：mtmt@mx1.harmonix.ne.jp Fax：092 - 924 - 8051
郵 送：〒 818 - 0125 太宰府市五条 1 - 1 3 - 6 1
締 切：2007 年 2 月 20 日(但し定員になり次第受付終了させていただきます)

La 17-a Internacia Kurskunveno de Esperanto(Printempa kurso de Namkang Esperanto-Lernejo)
Karaj gesamideanoj,

Okaze de la 17-a Internacia Kurskunveno de Esperanto(Printempa Kurso de Namkang Esperanto-Lernejo), ni estas tre ĝoja inviti vin. Nia kunveno estos en la bela urbeto Cheongdo, Koreio. Ni kunkune havu la gajan kaj bonan okazon per nia bela lingvo, Esperanto. Ni ĉiuj altigu lingvo-kapablon profitante tiun ĉi internacian renkontiĝon. Ni atendas vian volontan partoprenon.

Lee Jung-kee, Prezidanto de Seula Esperanto-Kulturcentro Kuak Jonghun, Direktoro de Namkang Esperanto-Lernejo

Dato: Kurskunveno /24-an(sab.)-25-an (dim.) de Marto, 2007 Ekskurso en Busan en la 25-a de Marto.
Loko: Namkang Malnova Lernejo en Cheongdo, Koreio

Kotizo: Kurskunveno/ Por lernantoj: 20,000 ŭonoj; Por studento: 25,000 ŭonoj; Por plenaĝulo: 35,000 ŭonoj

Programeroj 24-an de Marto(sabato) ptm.4~6: Akcepto kaj libera renkontiĝo 6~7: Vespermanĝo 7~8: Malferma ceremonio 8~10: Kurso 10~12: Interkonatiĝa vespero

25-a de Marto(dimanĉo) atm.7~8: Matenmanĝo 8~9: Konversacio laŭvice 9~12: Kurso

ptm.12~1: Tagmanĝo 1~2: Ferma ceremonio 2~2:30: Memorfotigo 2:30~: Ekskurso-starto aŭ al sia hejmo
Interkona Vespero Dum la programero "Interkona Vespero", ni havos kuirarto-konkurson.

Klasoj 1. Baza kurso/Junko Kong Gil-yun/Baza lernolibro de Esperanto 2. Post baza kurso/ Nema PARK Yong-seong/Memfarita

3. Kongresa konversacio/Ŝlosilo LEE Jung-kee/ Esperanto tiel parolata

4. Meza konversacio kaj kanto/Leono MA Young-tae/Memfarita

5. Libera Konversacio/Urso PARK Hwa-jong kaj Takaĉjo AGOU Takaŝi

Aliĝo Limdato: Ĝis la 2-a de Marto, 2007

Kiel aliĝi: Bv. rete sendu vian nomon, retadreson kaj telefonnumeron al esperant@unitel.co.kr

Ne-koreoj povas aliĝi surloke, sed sinanoncu rete al esperant@unitel.co.kr.

32 feb. 2007 NOVA VOJO